

2026年 4月 10日

新宿区長 宛て

団体名 特定非営利活動法人 みんなのことば
所在地 東京都新宿区西新宿 7-4-4 武蔵ビル 5F
(フリガナ) トミタ ユウコ
代表者氏名 代表理事 富田 悠子

新宿区協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第5条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 金 421,000円

申請事業の分野（該当の分野1つだけに○をしてください。なお、活動分野が複数の場合は、主要な分野に○をしてください。）		
保健・医療・福祉	災害救援	情報化社会
社会教育	地域安全	科学技術
まちづくり	人権擁護・平和	経済活動
観光	国際協力	職業能力開発・雇用機会拡充
文化・芸術・スポーツ	男女共同参画	消費者の保護
環境	<input checked="" type="radio"/> 子どもの健全育成	市民活動支援
その他（ ）		

助成事業計画書

<p>団体名</p>	<p>NPO法人 みんなのことば</p>
<p>事業名</p>	<p>体験型クラシック音楽プログラム 【親子で楽しむクラシック みんなのコンサート in 新宿】の開催</p>
<p>事業目的・ 事業概要</p>	<p>< 事業目的 > 感性の 80%が育つ 6 歳までの未就学児にスポットを当て、プロの音楽家による “ 豊かな感性と表現 ” を育てる参加型クラシックプログラムの実施により、区が推進する『新宿区教育ビジョン』『新宿区子ども・子育て支援計画（第3期）』『多文化共生のまち』の推進に貢献します。 昨年度に続き今年度もこの計画を継続し、新宿区を “ すべての子どもたちは、国籍や家庭環境にかかわらず、小学校に入る前に、ワクワクする本物のクラシック音楽を体験している！ ” のコミュニティを目指していきます。 聴く・歌う・みんなで演奏する体験を通して、子どもたちの感性を育む子どもが心で感じる姿をご家族にもご覧いただき、家族愛を高める文化芸術分野における子どもの体験格差をなくしていく 音楽体験を媒介に、多文化共生コミュニティの活性化に貢献する園の先生方や関係者のみなさまに、本物の体験を知っていただく新宿区、NPO 団体、企業 CSR ご担当者のみなさまとともに子どもたちの心を育てる “ 本物の体験 ” の機会をつくることで、地域への愛着を育てる</p> <p>< 事業概要 > コンサートの開催 10月と2月に、新宿区 NPO 協働推進センター及び区内コミュニティホールで親子コンサートを開催します。 開催にあたっては、新宿区に住む未就学児親子、および新宿区にお勤めのご家庭の子どもとご家族にフォーカスした告知を進めます。 演奏者は各方面で活躍するプロの音楽家で、司会を担当する歌手と、フルート、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのカルテット計5名で編成する。アイネ・クライネ・ナハトムジークなどクラシックの名曲を 子どもの集中力を考慮した 45 分間のプログラムにまとめ、 “ 静かに聴く ” のではなく、 “ 聴く・歌う・みんなで演奏する ” 参加型のコンサートをお届けします。 また演奏終了後に有償で楽器体験コーナーを開設し、プロの音楽家指導の下、普段触れる機会のない本物のヴァイオリンやチェロの演奏にチャレンジする機会を設定します。 コンサートは親子ペア1,500円程度の有償公演となりますが、区内企業・事業者の CSR 担当や NPO・教育関係者などへの告知をすすめ、今後の継続拡大に向けた後援基盤の確立を目指します。</p> <p>コンサートの準備期間 区内幼稚園、保育園、こども園を中心とした施設へのご案内、ホームページ・インスタグラムの活用により、コンサートの告知をすすめます。告知活動を通じて、区内企業・団体の CSR 担当者や、幼稚園の園長先生方などの教育関係者、区内 NPO 関係者との接点拡大を図ります。</p> <p>コンサート終了後のフォロー 参加者アンケートや来場者とのコンタクトや、準備段階で確立した関係者とのリレーションを活かして、『新宿区子ども・子育て支援計画（第3期）』に沿った活動基盤の構築を図ります。</p>

地域課題・
社会的課題

新宿区における虐待相談の受付件数は年々増加しており、令和5年度の新規受付件数は、年間1,500件弱と平成26年度からの10年間で約8倍となっています（出典：新宿区子ども子育て支援計画）。

虐待を未然に防止するためには、子どもの感性を育てていく活動と並行して、親が子どもの表現する感動を共有し、感動することで成長していく姿に触れ、子どもへの愛情を再確認する機会が必要です。

新宿区は外国人人口が都内で一番高く（130カ国、41,851人（区民の12.2%））、多様性を認めあう多文化共生社会の実現を目指しています。外国人住民に対するアンケートで、多文化共生のまちづくり推進のために区が進めるべき最重点テーマは、「日本人との交流会やイベント」（46.5%）との回答でした。

新宿区は、外国人と日本人のコミュニティをつなぐ交流機会が最も重要な地域です。（出典：令和5年度 新宿区多文化共生実態調査）

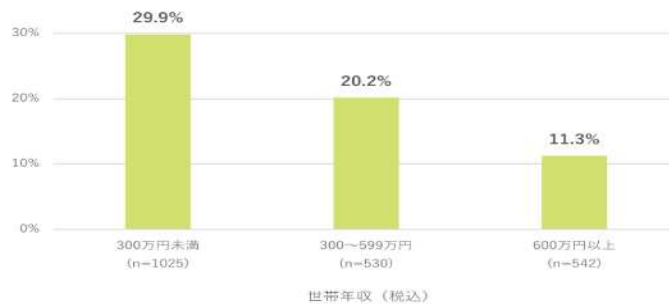
感性は6歳までにその80%以上が形成されます。豊かな感性を育むためには、未就学児の心を動かす質の高い本物の体験が大切です。

しかしながら、多くのコンサートイベントは未就学児の入場を制限しており入場制限のないイベントでも静かにできない子どもをコンサートホールに連れていくことは、保護者にも大きな心理的負担となります。

また、文化庁の『学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業』予算55.8億の対象は小学校以上で、未就学児には国家予算による支援がありません。

家庭の経済状況や環境によって、子どもの体験格差が生じています。公益財団法人チャンス・フォー・チルドレン発行『子どもの「体験格差」実態調査最終報告書2023』によると、年収300万未満の家庭では30%、年収600万以上の家庭でも1割の子どもは、学校以外の体験がありません。

学校外の体験がない子どもの割合（直近1年間）



（出典：チャンス・フォー・チルドレン 子どもの「体験格差」実態調査最終報告書2023）

更に文化芸術活動にフォーカスすると、年収300万未満の家庭で82%、年収600万以上の家庭でも68%の子どもに体験の機会がない状況です。

各種「文化芸術活動」に参加している子どもの割合（複数選択）

世帯年収区分	音楽	アート・造形・工作	演劇・ミュージカル	外国文化（語学・英会話を除く）	習字・書道	将棋・囲碁	茶道・華道	料理	科学・プログラミング	その他	体験なし
300万円未満 (n=1025)	7.5%	1.2%	0.5%	0.5%	6.8%	0.4%	0.4%	0.8%	1.2%	1.2%	82.4%
300～599万円 (n=530)	13.0%	1.1%	0.0%	0.2%	9.4%	0.2%	0.2%	0.6%	1.7%	0.8%	76.2%
600万円以上 (n=542)	17.5%	3.0%	0.4%	0.9%	10.1%	0.9%	0.7%	0.9%	4.2%	0.7%	68.6%

（出典：チャンス・フォー・チルドレン 子どもの「体験格差」実態調査最終報告書2023）

本報告書では、³低所得家庭の保護者自身が学童期に学校以外の体験が少

	<p>なく、幼少期の体験が感性を育み、その後の学歴や社会的地位への影響することを示唆しています。</p> <p>さらに外国人比率の高い新宿区の場合には、保護者の文化的バックボーンの多様性を考慮する必要があり、保護者の経済的・経験的・文化的要因による選択が、子どもの感性の育成に大きな影響を及ぼすことを考慮する必要があります。</p>
<p>課題解決のための取組</p>	<p>「楽器を手にする子供は、武器を手にしない」</p> <p>これは、コロンビアのウリベ大統領（当時）が国の治安を改善するための政策に掲げたスローガンです。</p> <p>次代を担う子どもたちの心と感性を育てる本物の体験は、やわらかで優しい多文化共生社会の実現に貢献できると考えます。</p> <p>私たちは、ひとりでも多くの子どもたちに音楽の楽しさ、五感を使ってドキドキわくわくする原体験を、設立から17年、これまで1,281施設を訪問し、135,000人の子どもたちに届けてきました。</p> <p>以下に新宿区が直面する課題に対する私たちのアプローチを記します。</p> <p>虐待の防止</p> <p>新宿区では、子どもの虐待を未然に防止することを目的に、子ども総合センターと4か所の子ども家庭支援センターを設置し、保護者が安定した精神状態で育児に臨める支援施策を展開しています。</p> <p>当団体は更に音楽の力で保護者のストレスを和らげ、保護者と子どもが感動を共有することで、虐待の抑止に貢献してきました。</p> <p>これを裏付けるとある都内保育園でのエピソードをご紹介します。</p> <p>夕方の公演依頼を受け、子どもたちを前に演奏していると、保護者がお迎えにやってきます。園長先生が「一緒に聴いて行って」と仕事で疲れた保護者を会場に誘い込むと、モーツァルトの旋律に保護者の表情が和み、その音楽に合わせて踊っている子どもの笑顔に和み、いつしか子どもと一緒に手拍子を始めました。</p> <p>その姿を見た園長先生の「これが虐待の抑止力になるのです」との言葉は、この問題への対応の難しさと、心を動かす本物の体験の可能性を物語っています。</p> <p>多文化共生社会への貢献</p> <p>音楽を通して、国籍の違いによる言葉の壁を越えた多文化共生コミュニケーション基盤の醸成に寄与します。</p> <p>床にマットを敷いたフラットなスペースを用意し、アーティストにできる限り近く、同じ目線の高さで、演奏を体験できる工夫をします。</p> <p>アーティストは、ただ演奏を静かに聞かせるのではなく、子どもたちが笑ったり、歌ったり、踊ったり、五感を使って感じたことを周りの人と共有しようとする反応を引き出します。</p> <p>このような子どもの全身を使った感情の表現が、初対面の子ども同士・大人同士の柔らかいコミュニケーションを引き出します。</p> <p>また指揮者体験や楽器体験、アーティストとの交流の場を通して、心の垣根を超えた参加者同士の一体感を生み出します。</p> <p>心を動かす体験を五感で表現する子どもたちと、その空気を共有したおとなたちの一体感が、言葉の壁や初対面の緊張を克服し、多文化共生社会のコミュニケーション活性化に貢献できると考えます。</p> <p>文化芸術への体験格差是正</p> <p>今回の助成により、芸術体験予算が確保できない幼稚園、保育園、子ども園、の子どもたち、家庭の経済的・環境的要因で文化芸術に触れる機会に恵まれなかった子どもたちに本物の体験を届け、区内の子どもたちの文化芸術活動の体験格差の是正に貢献します。</p>

	<p>地域協力体制の基盤確立</p> <p>保護者・教育関係者・事業者各位に、コンサートと参加する子どもたちの反応を体験いただき、その効果と可能性を訴求し、今後の協力支援体制の基盤作りに取り組みます。今回も有償公演となりますが、事業者や保護者からの賛同と資金協力を得て、将来的には無償で、新宿区のすべての子どもたちにコンサートを届けていきたいと思いをします。</p>
<p>先駆性・専門性</p>	<p>デジタルエンタテインメントが普及した今日、音楽や映像はスマホや AV 機器を通し、受け止める側の反応に関係なく一方的に発信されるバーチャル体験として大量に発信・消費されています。</p> <p>しかし、この手軽なバーチャル体験は、アーティストと聴衆が同じ空間と時間を共にする一体感、肌で感じる空気の振動、アーティストの息遣いやアイコンタクトが生む本物の体験とは一線を画します。</p>  <p>私たちは、司会を担当する歌手と、フルート・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロの四重奏で、子どもの集中力を考慮した 45 分間のコンサートを届けています。</p> <p>アーティストと参加する子どもたちの距離をできるだけ近くセッティングすることで、肌で感じるヴァイオリンの弦の響き、エンドピンを通して床から伝わるチェロの振動、演奏者同士の息遣いなど、本物の体験を届けることに注力しています。</p>  <p>ただ演奏を聴かせるだけでは子どもの集中力は維持できません。発達に合わせたプログラムの構成はもちろんのこと、相手が純粋な子どもだからこそ、高い演奏のクオリティが必要となります。さらに、司会の巧みな話術と、子ども一人ひとりとのアイコンタクトや全身を使ったアーティストのパフォーマンスにより、終始子どもの注意を引きつけます。</p> <p>クラシックコンサートでは当たり前となっている“静かに聴きましょう”というルールはなく、泣いたり、笑ったり、いっしょに歌ったり、子どもが五感で感じて表現する反応を引き出します。</p>



昨年度の助成で実現した、2回の【親子で楽しむクラシック みんなのコンサート in 新宿】の結果をご報告します。

- ・新宿 NPO 協働推進センター多目的ホールにて開催された2回のコンサートに、計287人の親子がご来場されました。
- ・未就学児の入場を制限する一般のクラシックコンサートと異なり、アーティストが目の前で子どもとコミュニケーションを取り、子どもの五感の反応を引き出しました。
- ・楽器体験や指揮者体験、みんなで一緒に歌うなどの参加型プログラムにより、子どもの笑顔とご家族の温かい空気に包まれたひと時をお届けしました。
- ・高田馬場地区を中心とする自治会、小学校、幼稚園、子ども園へのコンタクト、SNS告知、並びに地域コミュニティ課様ご支援による区施設ポスター掲示やチラシ配架、NET告知を通して開催情報を広く区民に伝えられました。
- ・助成により参加費を安く設定できたこと、子ども同伴での参加が可能なことで、クラシックコンサート初体験のご家族に多数ご来場いただくことができ、体験格差の是正に寄与しました。
- ・アンケートでは、ご来場者の100%が満足、98%が再演を希望し、心温まるメッセージコメントを多数頂戴した。子どもを中心とした家庭内コミュニケーション活性化すると同時に、文化芸術への関心を高め、教育ビジョン、子育て環境の向上に貢献できたものと考えます。

以下アンケートコメントの一部をご紹介します。

- ・初めてのコンサートすごく楽しかったです！生の音楽を体験できること、子どもと一緒に参加できること、とても貴重な日となりました。ありがとうございました。
- ・未来の子供たちに、音楽の楽しさを体験させる事は、とても意味深い、尊いことだと思います。
- ・子どもが参加しやすい仕組みが案内されていたので、参加へのハードルも低く、安心して楽しむことができました。ありがとうございました。
- ・素敵なコンサートをありがとうございました！！色々な幼児向けコンサートに参加してますが、子どもたちの集中度がこんなに高いコンサートは初めてでびっくりでした！音楽でもMCでもクイズでも惹きつけていただき、大人もとても楽しかったです
- ・子どもに本物に触れる機会を作っていただきありがとうございます！とても貴重な体験でした。ありがとうございました。
- ・普段経験出来ない体験なので楽しかったです。



具体的な活動
内容

(イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください)

イベント(会議)の開催予定等

1. イベント(会議)名：
親子で楽しむクラシック みんなのコンサート in 新宿
2. 活動内容：
 - ・歌手とカルテットによる親子コンサートの実施
 - ・指揮者体験、楽器体験、アーティストとの交流
 - ・告知案内を通して、区民、教育関係者、区内事業者との関わりを持ち、実施後のフォローによりその効果を共有し、ご家族の経済的負担なく、継続的に開催できる基盤をつくる
3. 実施期間、回数：
 - ・2026年10月と2027年2月の2回公演
4. 実施場所： 10月 NPO協働推進センター 多目的室
2月 四谷文化センターかそれに準ずるホール
5. 周知(募集)方法、期間：
 - ・区内幼稚園、保育園、こども園への案内チラシ郵送、個別訪問フォロー
 - ・団体HP、インスタ等による案内
 - ・区広報、区内施設、掲示板による案内
 上記施策を開催2か月前から実施
6. 対象者・定員数：
 - 集客定員120名(親子ペア60組)
7. 人員・スタッフ数
 - 団体構成員(6)名 講師等(5)名
 - アルバイト()名 ボランティア(4)名
8. 安全対策等：
 - ・会場との綿密な事前打ち合わせ
 - ・受付でのアナウンスの徹底
 - ・来場者動線の明示と安全な誘導の徹底
 - ・子どもの動きを想定した安全対策の徹底
 - ・授乳室やおむつ替えスペースの確保

期待される効果	ア 区民や地域社会への成果・効果
	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽は世界共通のことば。本物の体験は、区が目指す国籍や慣習にとらわれない多文化共生社会の実現に寄与するものと考えます。 ・区内の子どもたちの文化芸術体験の格差が是正され、感性豊かな次代の担い手の育成に貢献します。 ・保護者、教育関係者、事業者の知見を広げ、子どもの感性を育てるための区内関係者の協力体制を確立します。
	イ 現状や課題に対する成果・効果
	<ul style="list-style-type: none"> ・国家予算による支援が届かない未就学児に文化芸術体験の機会を設けることで、子どもの感性を育てます。 ・子どもと保護者が体験を共有することで、家族共通の話題や思い出が生まれて家庭の雰囲気がやさしく健やかになり、家庭内暴力の抑止につながります。
今後の展望	<p style="text-align: center;">すべての子どもたちに本物の体験を！</p> <p>“新宿区の子どもたちは、国籍や環境にかかわらず、小学校に入る前に本物の体験を通して豊かな感性を備えている”という状況を当たり前のものとし、心豊かでやさしい多文化共生社会の担い手に育っていく環境をつくっていききたい。</p>

過去にこの助成を受けた実績	助成年度（令和7年度） 事業名（体験型クラシック音楽プログラム 【親子で楽しむクラシック みんなのコンサート in 新宿】の開催）
	助成年度（ ） 事業名（ ）
	助成年度（ ） 事業名（ ）
この事業に対する他の助成の有無（申請中のものを含む）	有 無
	<p>有の場合は、助成名称（団体）及び助成額 助成名（団体名）： 助成額： 円</p> <p>新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。本助成金への申請後に、同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。</p>

収支予算書

費 目		予 算 額	内 訳
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	145,600 円	10月 新宿NPO協働推進センター 10,600円 (4,500円+6,100円) 2月 四谷区民ホール 135,000円 (45,200円+90,400円)
	②消耗品及び印刷費	37,204 円	チラシ印刷 7,000部×2回 ※根拠 予算②参照 (18,602円×2回)
	③委託費	22,274 円	チラシデザイン×2回 ※根拠 予算③参照 (11,137円×2回)
	④講師謝礼	242,000 円	アーティスト謝金×2回 24,200円×5人×2回
	⑤その他謝礼	40,000 円	ボランティア謝金 5,000円×4人×2回
	⑥交通費	21,000 円	7人×1500円×2回
	⑦保険料	12,000 円	イベント保険50円×120人×2回 ※根拠 予算⑦参照
	⑧その他諸経費	81,638 円	資料コピー (6,050) + 郵送費クリックポスト (185円× 200通) = 37,000円 運送費 片道9,647円×往復×2回 = 38,588円 ※根拠 予算⑧参照
	⑨人件費	200,572 円	※下記「事業費」の25%以内 (200,572) 当日 1,300円×2人×5.5h×2回 = 28,600円 1,280円×4人×5.5h×2回 = 56,320円 準備 1,300円×2人×8h×2回 = 41,600円 1,280円×4人×8h×2回 = 81,920円 計208,440円
事業費 (①から⑨の合計)		802,288 円	
⑩ファンドレイジングに 関する経費	40,114 円	※事業費の5%以内 (40,114) セルマーケDM220社 (26,838円) × 2回 = 53,676円 ※根拠 予算⑩参照	
⑪助成対象経費 (事業費+⑩)	842,402 円		
⑫助成対象外経費	21,430 円	ファンドレイジング差額 (13,562円) 人件費差額 (7,868円)	
事業総額		863,832 円	

内 容		予 算 額	積 算 根 拠 (内 訳)
収 入 区 分	㊦ 事業収入 (参加料、資料代等)	150,000 円	親子ペア1,000円×60組×2公演 = 120,000円 楽器体験500円×30人×2公演 = 30,000円
	① 寄附金		
	㊧ 補助金等収入		
	㊨ 協働推進基金助成金	421,000 円	助成金申請額 上限は50万円 「⑪助成対象経費」の1/2 ※千円未満切り捨て
	㊩ 団体負担金	292,832 円	
収入総額		863,832 円	